

説 教

Open Church 礼拝

北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2023年7月16日(日)

主 題:「人生はパズルのようだ」

—不思議を解く鍵—

聖 書:詩篇84篇10—12節

### はじめに

・おはようございます。

1) 今日は「Open Church 礼拝」を迎えています。メッセージの主題は、「人生はパズルのようだ」です。

・先月中旬のこと、南米アマゾンの密林で小型飛行機が墜落し発見されました。パイロットをはじめ家族7人を載せた小型飛行機が墜落したのは、5月1日でした。それから連絡を絶った小型飛行機の捜索が始まり、捜索隊は現場でパイロットはじめは母親ら大人3人の死亡を確認しました。

・ところが、乗っていたはずの子ども4人の姿が見当たりませんでした。そこで捜索隊は懸命な捜索を始めました。それから40日後、子ども4人は約5Km離れた地で無事に発見されました。マスコミは「**子ども4人、奇跡の生還**」と報じました。彼らはジャガーやヘビが出るアマゾンの密林で、一体どのようにして40日間も生存できたか、世界が関心を寄せました。

・生還した小どもの年長者は13歳の少女でした。彼女は「食べられる果物や種を食べ、餓えをしのいだ。」と言いました。そして祖父母から教わった「食べられる果物や水のある場所、雨をよける仮設小屋の作り方など、先住民の知恵を生かした。」と語りました。とにかく、アマゾンの密林で「**奇跡の生還**」が起きました。普通、地震や自然災害時の人命救助の限界は、72時間と言われます。墜落現場がアマゾンであるとは言え、とにかく4人の生還は信じられない奇跡でした。本当に嬉しいグットニュースです。

・ところで、私たちの人生には不慮な事故をはじめとして、いろいろな出来事が起こります。不可解な事が起こり、理不尽な出来事も起こります。それらをどのように受け留めたら良いか、分からないことがあります。

す。また意味が不明な事もあります。まさしく⇒「人生はパズルのようだ」と言えましょう。

- ・ところで、私たちの人生は、長いようで短いものですね。一息のようです、詩篇 84 篇の作者は次のように歌いました。

84:10 まことにあなたの大庭にいる一日は 千日にまさります。

私は悪の天幕に住むよりは 私の神の家の門口に立ちたいのです。

- ・この詩は神の国に住む幸いを歌ったものですが、神と共にいる 1 日は千日にまさると言いました。そこはどんなに幸いなところでしょうか。そして、どうすれば、幸いな神の大庭に入ることができるでしょうか。パズルのような人生で、私たちはどのように生きるべきでしょうか。聖書は生きるために力を与える書物です。
- ・パズルのような人生を解くために、大切な次の 3 点を考えてみましょう。

## 大切なポイント

### 1. 自分を見ること

- ・一般的に言って、私たちの目は他人には見えますが、自分は見えないものですね。自分が見えないために、空気が読めなく、問題が起こることがあります。ですから、自分を見るのが大切なことです。では、どうすれば見えるのでしょうか。
- ・それは「立ち止まる」ことです。鳩の習性を考えてください。鳩は大空を自由に、しかも超距離を何時間も飛ぶことができます。しかし地上にいる鳩は違います。数歩進んでは首を左右に振り、また数歩進んでは首を左右に振ります。それは自分の立ち位置を確認しているのだそうです。
- ・私たちも人生において、「立ち止まる」ことは大切です。最近の世の中、物事が非常に速い速度で動いています。SNS は非常に広がりました。しばらく前までには考えられなかったような、大変便利な時代となりました。しかし反面、多くの人は疲れを覚えています。
- ・ドイツ社会では現在、スピード社会で「4 人に 1 人が、精神的に病みストレス抱えている。」という統計が出ています。創造神を信じるクリスチャンが、日曜日に教会へ行き神に礼拝を捧げることは、それは 1 週間のはじめに、一度「立ち止まり」、自分の立ち位置を確認することに似ています。
- ・ドイツの宗教改革者マルチン・ルターは、「聖書は心の鏡である」と言いまし

た。日々鏡の前に出ない方は、まずいないでしょう。鏡は正直に自分を写し出します。聖書は創造神が記された「神の書」です。聖書を開き読むことによって、自分がどのような者であるかが写ります。人生のパズルを解く方法の第一歩は、先ず「自分を見る」ことです。

## 2. 生ける神を見ること

- ・次に大切なことは、「神は生きておられる」ことを覚えることです。聖書をお読みしましょう。詩篇84篇

84:11 まことに神である【主】は太陽また盾。【主】は恵みと栄光を与え誠に歩む者に良いものを拒まれません。

新約聖書は次のように記しています。使徒の働き17章

17:28 『私たちは神の中に生き、動き、存在している』のです。あなたがたのうちのある詩人たちも、『私たちもまた、その子孫である』と言ったとおりです。

聖書は、人は神によって造られ、生かされている存在と教えています。それは人が造りだした神（偶像）ではありません。いいえ、私たちをお造りくださった神です。そして、今も生きておられ働いてくださる神です。その神が、聖書を通してお語りくださっています。

- ・詩篇84篇は、神は太陽を盾としてお守りくださるお方、と歌いました。私たちは人生で様々な問題を抱えています。問題がない人は、先ずいないでしょう。しかし、どうぞ覚えてください。「問題があることが問題ではなく、問題は問題をどう取り組むかが問題です。」
- ・適格な判断（知恵）は、助けとなります。正しい判断を下すならば、結果は良い方向に向かいます。しかし判断を誤れば、結果はまずいものとなります。では、どうすれば良いでしょうか。心の鏡である聖書は次のように語ります。箴言1章
- 1:7 【主】を恐れることは知識の初め。愚か者は知恵と訓戒を蔑む。
- ・神を恐れることは、はじまりと教えています。聖書は神の知恵と訓戒に満ちた書物です。ですから聖書を学ぶことは、⇒ 適格な判断（知恵）を得ることです。なぜなら、そこに神の知恵が働いてくださるからです。
- ・聖書の中に次のようなストーリーが記録されています。（使徒16章）ある時、クリスチャンのパウロとシラスは牢獄に入れられていました。

ところが彼らは真夜中に、祈りを捧げ、神に賛美を捧げていました。その時の様子が次のように記されています。

- 16:25 真夜中ごろ、パウロとシラスは祈りつつ、神を賛美する歌を歌っていた。ほかの囚人たちはそれに聞き入っていた。
- 16:26 すると突然、大きな地震が起こり、牢獄の土台が揺れ動き、たちまち扉が全部開いて、すべての囚人の鎖が外れてしまった。
- 16:27 目を覚ました看守は、牢の扉が開いているのを見て、囚人たちが逃げたしまったものと思い、剣を抜いて自殺しようとした。
- 16:28 パウロは大声で「自害してはいけない。私たちはみなここにいる」と叫んだ。
- 16:29 看守は明かりを求めてから、牢の中に駆け込み、震えながらパウロとシラスの前にひれ伏した。
- 16:30 そして二人を外に連れ出して、「先生方。救われるためには、何をしなければなりませんか」と言った。
- 16:31 二人は言った。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」
- 16:32 そして、彼と彼の家にいる者全員に、主のことばを語った。
- 16:33 看守はその夜、時を移さず二人を引き取り、打ち傷を洗った。そして、彼とその家の者全員が、すぐにバプテスマを受けた。
- 16:34 それから二人を家に案内して、食事のもてなしをし、神を信じたことを全家族とともに心から喜んだ。
- ・ここで注目したことは、2人は牢に入れられ、鎖で繋がれた状態であったことです。それにもかかわらず、神に賛美を捧げていました。それを見た周りの人々は感動し、恵みを受けました。そして彼らの心の扉が開きました。それは神が彼らと共におられたことが明らかであったからです。
  - ・神は生きておられ、今日も神を信じる者と共にいてくださいます。パウロはアテネにあるアレオパゴスの宮に集まって人々を前に、次のように呼びました。 使徒の働き 17章
- 17:22 パウロは、アレオパゴスの中央に立って言った。「アテネの人たち。あなたがたは、あらゆる点で宗教心にあつい方々だと、私は見ております。
- 17:23 道を通りながら、あなたがたの拝むものをよく見ているうちに、『知られていない神に』と刻まれた祭壇があるのを見つけたからです。そこで、あなたがたが知らずに拝んでいるもの、それを教えましょう。
- 17:24 この世界とその中にあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手で造られた宮にお住みにはなりません。

17:25 また、何かが足りないかのように、人の手によって仕えられる必要もありません。神ご自身がすべての人に、いのちと息と万物を与えておられるのですから。

17:26 神は、一人の人からあらゆる民を造り出して、地の全面に住ませ、それぞれに決められた時代と、住まいの境をお定めになりました。

17:27 それは、神を求めさせるためです。もし人が手探りで求めることがあれば、神を見出すこともあるでしょう。確かに、神は私たち一人ひとりから遠く離れてはおられません。

17:28 『私たちは神の中に生き、動き、存在している』のです。あなたがたのうちのある詩人たちも、『私たちもまた、その子孫である』と言ったとおりです。

- ・神は遠い存在ではありません。いいえ、私たちの近くにおられます。パズルのような不可解な社会、世界を造られた神が遠い存在ではなく、いいえ近くにおられます。

### 3. 神を信頼すること

#### 詩篇 8 4 篇

84:11 まことに神である【主】は 太陽また盾。【主】は恵みと栄光を与え 誠実に歩む者に良いものを拒まれません。

84:12 万軍の【主】よ なんと幸いなことでしょう。あなたに信頼する人は。

- ・私たちの人生で、なぜ多くの苦しみや闘いがあるのでしょうか。これだけ科学が発展し、SNSが進み、AIも進んでいます。しかし、私たちはストレス・ゼロでしょうか。いいえ、そうではありません。世の中、悩む人々は多くいます。

- ・聖書は、私たちが苦しむ最大の原因は、私たちに罪があると教えています。イエス・キリストは罪の清算のために、十字架にかかり、聖なる血を流されました。そして御血によって罪を洗い清めてくださるからです。イエスの十字架は自分の罪のためであったと信じる者に、神は天の御国に入る特権をお与えくださいます。イエスは次のように言われました。

#### ヨハネ福音書 1 4 章

14:6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。

{例 話} 米国テキサス州の石油王の回心

- ・アメリカのテキサス州で、石油事業で大富豪となった3人の友人がいまし

た。彼らは億万長者となり、ある時休暇を取り NY へ出かけました。NY の最高級ホテルの 29 階の部屋に予約を入れ、NY の街で夜遅くまでお酒を飲み交わしました。

- 3 人はとことん酔ってしまい、ホテルに戻ると、なんとエレベーターが故障していました。ホテルの従業員は平謝りし、修理が終わるまで 2 階の部屋で休んでもらえれば、修理後すぐに知らせると言いました。しかし、お酒の勢いで有頂天になっていた 3 人は、29 階まで歩いていくことにしました。
- なんとかして 29 階にたどり着きましたが、彼らは最も重要なことを忘れていたことに気づきました。それはフロントで部屋の鍵を受け取らずに、29 階まで上がってきたことです。もう一度、1 階まで行くことを考えると、気が遠くなりそうでした。
- ところが丁度その時、救世主が現れました。救世主とはマスターキーを持っている清掃員（クリスチャン）でした。その人は笑顔で 3 人に近寄り、言いました。「29 回まで上がってくるとは、大変だったでしょう。でも、このマスターキーがなければ、部屋に入れませんね。天の御国も同じです。」クリスチャン清掃員は、天の御国に入るにはイエス・キリストというマスターキーがなければ、入れないと、彼らに伝えました。
- すると彼女が語った言葉は、3 人の大富豪の心に突き刺さりました。その日、3 人はイエス・キリストを信じ回心しました。彼らはイエス・キリストこそ、虚しい人生から自分たちを救ってくださるマスターキーのようなお方だと悟りました。そして彼らは石油事業で得た利益を、神の働きに使う決心をしました。
- テキサス州の 3 人の石油王の回心は、1 人の清掃員の言葉でした。天の御国に入る必要な鍵は、人間の努力や功績ではなく、イエス・キリストだけです。救いの道は他にありません。なぜ、でしょうか。それはイエス・キリストだけが、私たちの罪の清算をしてくださるからです。
- パズルのように混迷する社会で、私たちは生きています。私たちが神の国の大庭に入る道は、神を信頼することです。十字架にかかれたイエス・キリストの前に、罪を告白し赦していただくことです。神は恵みとして天の御国に入る特権をお与えくださいます。

ま と め

主 題：「人生はパズルのようだ」

—不思議を解く鍵—

・今日、神は私たちにお語りくださいました。「人生はパズルのようだ」(不思議を解く鍵)と、考えました。神がおられる天の御国の大庭に入る人は、罪を清算した人です。今日は大切なことを学びました。

1. 自分を見ること
2. 生ける神を見ること
3. 神を信頼すること

\* God bless you!